

研究課題 (テーマ)		職業感染防止における看護職者の感染予防行動に関する研究	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部	教授	城戸口親史
分担者			
研究結果の概要			
<p>今回の質問紙調査の目的は、看護職者の基本的感染対策の知識・実践状況を聞き取りつつ、職場環境や個人特性の現状を調査し、職業感染事故防止に貢献するため、適切な看護実践プロセスを妨げる個人的要因を明らかにすることである。</p> <p>基本的感染対策の知識・実践については、標準予防策に加え、接触予防策、飛沫予防策、空気予防策の実際をリカード尺度5件法とする。そのほかの使用尺度については、開発者の承諾を直接得ることができた。</p> <p>◇R5年度 <u>プレテストによる質問紙の妥当性の検証</u></p> <p>質問紙作成後はプレテストを縁故法にて依頼し、施設（病院、老健施設、訪問看護ステーションなど）に勤務する看護師に協力を求め、質問紙の妥当性について検証することとした。しかしながら、受け入れ予定施設でのコロナ感染流行が長引き、実施するまでには至らなかった。</p> <p>今後は、大型連休後に改めて調査を進め質問紙の妥当性を検証する。また、広く富山県内の公的病院に依頼して、看護職者の傾向を調査するとともに、失敗傾向の強い看護職者の実態を明らかにしていく。</p>			
今後の展開			
<p>現在收拾の遅れているデータを回収し、分析を行うことで質問紙の妥当性を検証する。その後富山県内の公的病院において調査を行い、現状を把握する。ゆくゆくは、個に応じた感染予防プログラム開発へとつないでいく。</p>			